

## 会 議 要 旨

1 会 議 名 第三期北九州市人権施策審議会 第2回会議

2 議 題 (1)本市の人権施策の推進状況について  
(2)その他

3 開 催 日 時 平成22年2月4日(木)  
15時00分 ~ 17時00分

4 開 催 場 所 北九州市人権推進センター 会議室

5 出席した者の氏名

(委 員) 稲積謙次郎会長

ほか委員11人

計12人

(事務局) 人権推進センター所長

ほか事務局関係者9人

計10人

6 議題、議事の概要

(1)本市の人権施策の推進状況について

前回会議で事務局が報告した本市の人権施策の推進状況について、各委員がそれぞれの専門的立場や市民の視点から意見を述べた。

### 【委員からの意見等】

「人権文化のまちづくり」に取り組むに当たっては、「人権」というのは特別なことではなく、肩の力を入れずに取り組めるものだということを地域の皆さんに認識してもらうように行政が働きかけることが大事である。

「人権の約束事運動」の参加登録推進に当たっては、参加登録したらどうなるのかが目に見える形で市民にアプローチすると良いと思う。

昨今個々の人権相談事案が複雑化しており、人権相談の実施に当たっては、各専門機関と連携をとっていくことが大事である。

インターネットによる差別事件が増えているが、未然に防止することが大

事である。

女性管理職の増加に向けて、北九州市が率先して取組みを進めてもらいたい。

人権啓発アニメ「声を聞かせて」を職場研修で使用したがとても良い内容だった。また、同アニメのテレビ放映を観たという職員もいた。お茶の間でスイッチを入れれば観られるという身近な感じも必要だと感じた。

外国人向けに母子手帳に外国語を記載している自治体もあるようだ。また、一般的に病院での問診票は日本語が主なので、外国人は誰かに付き添ってもらわないと受診が難しいようだ。

「いじめ対策」については、社会的に注目を浴びるような事件が起きたときだけではなく、常時緊張感を持って継続的に取り組んでいかなければならない。

「夜間学級」への支援は、継続して行って欲しい。

教職員がうつ病と診断された場合、制度的な面も含め教職員の早期ケアをお願いしたい。

## (2) その他

委員からの意見を、今後の本市の人権教育・人権啓発の取組みに活かし、「人権文化のまちづくり」を進めていくことを確認し、来年度も引き続き、本市の人権施策について審議していくこととなった。

## 7 問い合わせ先

保健福祉局人権推進センター人権文化推進課  
電話番号(562-5010)